

むかしむかし、とある^{やまおく}山奥^{てら}のお寺に、おしょうさんと、若い^{わか}小坊主^{こぼうず}が^す住んでいました。

ある日、^ひ小坊主^{こぼうず}はおしょうさんに^い言いました。

「おしょうさん、おいら、^{やま}山に^{ひろ}くりを^{ひろ}拾いにいってきます」

「いいだろう。ただ、^{やま}山には^{こわ}怖い^{やまんば}山姥がいる。なにかあつた^{とき}時のために、^もこれを持っていきなさい」

おしょうさんは^{こぼうず}小坊主に『^{さんまい}三枚^{ふだ}のお札^{わた}』を渡しました。



こぼうず やま はい
小坊主は山に入ると、さっそくくり拾いを始めまし
た。

しかし、くりは一つも見つかりませんでした。

さが
くりを探しているうちに小坊主は、ふか ふか やま
なか はい こ
中に入り込んでしまいました。

「まいったな、道にまよってしまった。もうすぐ夜に
なる。どこか休める場所を探そう」

やま なか
しばらく山の中をさまよっていると、やがて小坊主
は、いっけん ふる いえ み
は、一軒の古びた家を見つけました。

こぼうず いえ と
小坊主は、家の戸をたたきました。



Once upon a time, there was a temple deep in the mountains where a Buddhist priest and his young apprentice lived.

"Master, I'm going to go out and gather chestnuts on the mountain."

"All right, but there is a mountain witch living there. You should take these with you in case something happens."

The priest gave the boy three charms.



The boy went into the mountains and started looking for chestnuts. But there were no chestnuts to be found.

While he was trying to find the chestnuts, he went deeper and deeper into the mountains.

“Oh, no. I’ve lost my way. It’ll be dark soon. I need to find a place to sleep.”

The boy wandered in the mountains for a while and came upon an old house.

He knocked at the door.

